

# 研究だより

令和2年12月14日(火)  
渋谷区立上原小学校  
校長 河口 尚志  
研究推進委員会

テーマ：つぶやきやひらめきから考えを深める児童の育成

## 研究推進委員より

11月16日(月)に4年1組で国語「ごんぎつね」の研究授業を行いました。

「ごんぎつね」の学習は、まず、単元のはじめに、児童からでた感想や疑問を基に子供たちと学習計画を立てました。そして、自分なりのテーマを設定して、疑問が生じたら、自分なりの答えを出す時間を作って学習を進めました。全ての場面のごんの気持ちの読み取りを終えて、16日は「ごんは幸せだったのだろうか考えよう」というめあてのもと、自分の考えをもち、幸せと考えている子供同士、不幸せと考えている子供同士でグループを作り、根拠を基に話し合いました。その後、自分の考えとは違う友達同士で話し合いました。

話し合いの時は、PowerPointをTeamsで共同編集できるようにして、根拠がどこにあるのかについて視覚的に分かるようにしました。

話し合いの後は、考えが変わったり深まったりしたところをノートに付け足したり、ごんが幸せだったかどうかを表す『ごんメーター』に記したりしました。

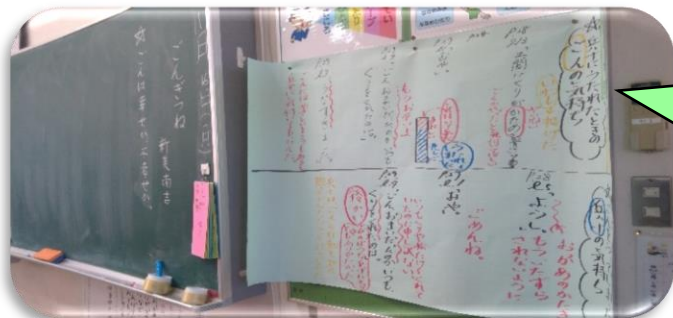
協議会では、ICTを使って考えをさらに深めていくための活用法や、視点転換をしていくことの効果などについて、明治大学専任准教授・岸磨貴子先生に助言をいただきながら考えていきました。

## 11月16日(月)の研究授業の様子

### 4年 国語科「ごんぎつね」

#### 導入

学習の流れ、本時のめあて「ごんは幸せだったのだろうか考えよう」について確認しました。



これまでのごんと兵十の気持ちを模造紙にまとめることで、それぞれの気持ちをいつでも子供たちが確認できるようにしました。

## 展開1

ごんが、幸せだったのか不幸せだったのか、根拠を明確にして、3～4人で話し合いました。



考えの根拠がどこなのか、叙述を基に話し合いました。



始めは幸せと考えている人同士、不幸せと考えている人同士でグループを作って話し、自分の考えの根拠を増やしました。

## 展開2

ワールドカフェ方式で、自分の班で話し合ったことを基に違うチームの人と話し合いました。その後、元のグループに戻って共有しました。



自分の考えとは違う友達の考えを聞いて、さらに考えを深めました。



話し合いを終え、言葉やごんメーターで深まったことを付け足して記しました。